

結婚した友人と会い、同居している母親から嫌味を言われた小屋太郎は、テレビを見て自分で小屋を建てて住む事を思い付く。果たして小屋太郎は幸せになれるのでしょうか？

コウノトリか？ケツコンサギか？

作・浜田

登場人物

小屋太郎（36） 物語の主人公、仕事もせず、母親と同居している。独身。

小屋太郎の母（62） 小屋太郎の将来を心配している。

小屋太郎の友人（36） 最近結婚して子供が生まれた。

通り掛かりの女性（30代） 小屋の前を通り掛かり、貼り紙に目を留める。

○沼のほとり 朝

飛んでいたサギが沼に舞い降りる。
もう一羽のサギがやってくる。
つがいのサギが餌をついばむ。

○居酒屋 夕方

友達と会って話をしている小屋太郎。
友人「前に話したと思うんだけど、オレ、子供産まれたんだ。」
スマートフォンの子供の写真を見せる友人。
子供の写真をしげしげと眺める小屋太郎。
スマートフォンを友人に返す。

○自宅居間 夜

小屋太郎が自宅で母親の揚げた唐揚げを食べながらテレビを見ている。
テレビが点いている。
お茶を運んできたついでに突然会話を始める太郎の母
母「気楽でいいねえ。母さんがお前の歳には働きながらお前さんの面倒をみてたんだ
けどねえ。」あと、どれくらい世話をすれば良い事やら、誰か良い人でも居ないのか
え？」

小屋太郎「・・・」

○自宅居間 夜

食事が終わりお茶を飲んでいる太郎
鳥の巣作りの映像がテレビから流れる。
テレビの画面のアップ。
ナレーション「○○鳥のオスはメスを迎える為に巣作りに励みます。」
テレビを食い入るように見る太郎
お茶のコップをテーブルにトンと勢い良く置く。

○田舎の原っぱ

スコップを肩に担いで歩いてくる太郎
とある場所に着くと地面を掘り始める太郎
小屋作りのカットに繋ぐ。

↓ドキュメンタリー風に撮るので説明省略↓

小屋完成

○小屋の前 夕方頃

小屋太郎が買ひ物袋を提げて小屋に入っていく

小屋の窓に明かりが灯る

小屋の壁に貼ってある貼り紙のアップ

貼り紙に「お嫁さん募集中」の文字

○小屋の前 昼

貼り紙に目を留めて立ち止まる女性の後ろ姿。貼り紙を読んで首をかしげる。

「完」